

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	海岸公園の一部（冒険広場及びキャンプ場を含む。）	
2 指定管理者	冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 122,843人（前年度比 75.0%） ※有料施設（デイキャンプ場）利用数：1,817サイト7,934人（前年度比 55.6%） …ただし、令和3年度は4/1～5/11、8/30～9/12の間、利用休止。 他の期間は11/25～11/30を除き27サイト、定員7名での利用 ・令和2年度 163,763人（デイキャンプ場：2,479サイト14,260人 4/11～5/31の間、利用休止） ・令和元年度 156,511人（デイキャンプ場：2,098サイト15,596人）	
	《事業》 ・冒険遊び場の運営、子育て・子育て支援事業、環境学習事業、文化伝承事業、市民参加交流事業、防災・減災の普及啓発事業、地域連携事業、普及啓発事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 26,916千円 (27,012千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 869千円 (1,200千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ① 来園者アンケートの実施 ② 海岸公園冒険広場運営委員会を組織し、半年に1回、地域や地域施設、関連機関からの意見を聞くこととしている。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	避難の丘を有し、震災の経験を伝承し防災教育の場となる施設として、設置目的を十分に理解し、管理運営を行っている。	24/24
II 施設の運営管理体制	適切な人員配置による運営管理を行っており、来園者や海岸公園の他の施設職員も参加し、実際の状況を想定した防災訓練を実施している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設等について、十分に管理が行われており、園内についても環境への配慮を行いながら管理を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	新人スタッフ用のマニュアルを常に見直す等、応対や接遇に関する研修体制を充実し、利用者の来園満足度を向上させる取り組みを積極的に行っている。	28/28
V 施設固有の基準	WebサイトやSNS等で冒険遊び場での具体的な遊び方の紹介や花の見ごろを掲示するなどPRを行い、適切に発信を行っている。 地域団体や他自治体等と連携したイベントを開催し、地域全体の賑わいと交流を生む役割を果たしている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）による自己評価》
<p>前年度と同じく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受ける形の令和3年度となった。デイサイト利用者数は、令和3年4/1～5/11、8/30～9/12と2回のデイキャンプ場の利用休止、それ以外も11/25～11/30を除き、27サイト定員7名での利用となり大きく減少した。公園利用者に関しては4月、5月と前年度に比べ増加に転じ、6月以降も満車時の臨時駐車場の台数制限や遊具・道具貸出等の一部制限は継続したものの、多くの来園者を迎えた。コロナ禍の影響で屋内よりもリスクの低い屋外で遊ぶことを選ぶ人たちのニーズをしっかりと受け止め、単に管理を強めるだけではなく、園内をひろびろと遊べるようにする工夫を行なった（前年度に続きバス駐車場の遊び場としての開放、虫取りなどの遊具以外の遊ぶきっかけづくり、新しく園内の四季それぞれの見どころのHP発信・管理棟内掲示、利用停止期間のデイサイトを使った巨大迷路等）。</p> <p>自主事業についても、基本的に屋外で行い「密」にならない工夫をしながら再開していった。周辺部での巡回型遊び場の展開は六郷・七郷地区の市街部での遊び場を徐々に再開し、公園周辺での「ひろびろとした環境を活かした遊び場」については通年で実施し、地元の井土町内会や井土生産組合と連携しながら、コロナ禍の中、身近な自然や地域で遊ぶことを再認識してもらう提案を行うことができた。東日本大震災から再開後の重要な役割である震災伝承・防災についても継続して取り組み、今年度も3月11日に合わせた防災展示（屋外での展示の強化、屋内では新たに防災グッズの展示）を行った。例年実施している防災あずまやの設営訓練については、海岸公園岡田地区・荒浜地区のスタッフも招いて研修の機会とした。コロナ禍で前年度より強い制約のある年間となったが、学校の教育活動への協力等、できることから取り組んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ホームページや街中でのイベントにおいて、利用者を増やすようPRし、利用率向上に対する取り組みを行っている。</p> <p>事故防止のため、AEDの使い方等の研修に参加することや、海岸公園岡田地区・荒浜地区のスタッフも招いての防災あずまやの設営訓練や来園者へ防災リュック中身の展示など、施設の設置目的に配慮した運営を行っている。</p> <p>また、沿岸部交流施設間で連携した「海手めぐりキャンペーン」、JR東日本や仙台市・名取市の沿岸施設と連携した「せんだい・なとりの今魅力再発見」、井土農業組合の協力を受け開催した水田でのイナゴとりイベント、井土町内会の協力を受け開催した地域資源を活用した昔遊び体験イベント、井土地区で震災を生き残った藍を使い藍染イベント等を開催し、地域資源と一体的に公園の魅力を高め、地域全体に賑わい・交流を生む役割を果たしており、評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>例年実施している防災あずまやの設営訓練について、海岸公園岡田地区・荒浜地区のスタッフも招いて実施し、地域全体の防災力向上及び連携の強化に貢献している。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園管理課